

## 第10回 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 次第

日時：令和4年10月26日（水）15時45分～17時15分

場所：東近江市役所新館3階 会議室

### 1 開会

### 2 新任委員の紹介

### 3 報告

(1) 近江鉄道線 全線無料デイの実施と同日開催イベントの開催結果  
について

資料1

(2) 2022年度近江鉄道株式会社の経営状況について

資料2

### 4 議事

(1) 第二種鉄道事業者となる近江鉄道株式会社の組織（経営）  
形態について

(2) 第三種鉄道事業者となる鉄道施設管理団体について

資料3

### 5 意見交換

資料4～8

「近江鉄道線の通勤・通学利用を増やすために」

(1) 近江鉄道線活性化に関する取組状況と今後の予定

(2) 取組紹介

(3) 意見交換

### 6 閉会



第10回 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 出席者名簿

【敬称略】

	所属・団体名等	氏名
委員	滋賀県知事（会長）	三日月 大造
	東近江市長（副会長）	小椋 正清
	彦根市長	和田 裕行
	近江八幡市長	小西 理
	甲賀市長	岩永 裕貴
	米原市長	平尾 道雄
	日野町長	堀江 和博
	愛荘町長	有村 国知
	豊郷町長	伊藤 定勉
	甲良町長	野瀬 喜久男
	多賀町長	久保 久良
	近江鉄道株式会社代表取締役社長（副会長）	飯田 則昭
	信楽高原鐵道株式会社常務取締役業務部長	松田 直道
	西日本旅客鐵道株式会社京滋支社 支社長	財 剛啓
	一般社団法人滋賀県バス協会専務理事	野村 義明
	一般社団法人滋賀県タクシー協会専務理事	松尾 武文
	国土交通省近畿地方整備局滋賀国道事務所長	中尾 勝
	滋賀県警察本部交通部交通企画課課長補佐	黒川 昭登
	滋賀県教育委員会高校教育課主幹	武原 正樹
	滋賀県PTA連絡協議会会長	山添 友美
	滋賀県民生委員児童委員協議会連合会理事	菊井 シゲ代
	びわこ学院大学教育福祉学部教授	逢 軍
	一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会理事	西澤 基治
	滋賀県地域女性団体連合会副会長	山本 身江子
	一般社団法人グローバル交流推進機構理事長	土井 勉
	関西大学経済学部教授	宇都宮 浄人
	滋賀県立大学環境科学部准教授	轟 慎一
	国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局長	戸田 辰司
	一般財団法人地域公共交通総合研究所専務理事	町田 敏章
	一般社団法人滋賀県病院協会事務長会委員	川村 宏
	滋賀県市町社会福祉協議会会長会副会長	大塚 ふさ
	公益社団法人びわこビジターズビューロー 事務局長	濱 秀樹
滋賀県商工会議所連合会理事	高村 潔	
オブザーバー	国土交通省近畿運輸局交通政策部長	柳瀬 孝幸
	国土交通省近畿運輸局鉄道部長	原澤 正則

# 第10回 近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会 席次表

令和4年10月26日(水) 15:45～  
東近江市役所新館3階会議室

【敬称略】

	(一財)地域公共交通総合研究所 町田 敏章	滋賀県立大学 轟 慎一	関西大学経済学部 宇都宮 浄人	(一社)グローバル交流推進機構 土井 勉	滋賀県教育委員会 高校教育課 武原 正樹	滋賀県警察本部 交通企画課 黒川 昭登	
事務局	国土交通省近畿地方整備局滋賀県国道事務所 中尾 勝						滋賀県商工会議所連合会 高村 潔
	(一社)滋賀県タクシー協会 松尾 武文						(公社)びわこビクターズビューロー 濱 秀樹
	(一社)滋賀県バス協会 野村 義明						(一社)滋賀県病院協会事務局 川村 宏
	西日本旅客鉄道株式会社 財 剛啓						滋賀県市町社会福祉協議会 大塚 ふさ
	信楽高原鉄道株式会社 松田 直道						滋賀県民生員児童委員協議会連合会 菊井 シゲ代
	近江鉄道株式会社 飯田 則昭						滋賀県地域女性団体連合会 山本 身江子
							(一財)滋賀県老人クラブ連合会 西澤 基治
	議長席						びわこ学院大学 教育福祉学部 逢 軍
	滋賀県知事 三日月 大造						滋賀県PTA連絡協議会 山添 友美
	東近江市長 小椋 正清						国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局 戸田 辰司
	彦根市長 和田 裕行						国土交通省近畿運輸局交通政策部 柳瀬 孝幸
	近江八幡市長 小西 理						国土交通省近畿運輸局鉄道部 原澤 正則
	甲賀市長 岩永 裕貴						
米原市長 平尾 道雄							
	日野町長 堀江 和博	愛荘町長 有村 国知	豊郷町長 伊藤 定勉	甲良町長 野瀬 喜久男	多賀町長 久保 久良		

随行席	報道席
-----	-----

2022年10月16日に「近江鉄道線 全線無料デー」を実施し、沿線団体による連携イベントや、「近江鉄道グループありがとうフェスタ」を同日開催し、沿線各地では多くのお客さまで賑わった。

### 2022年10月16日（日） 近江鉄道線 全線無料デー

#### 同日開催イベント

【米原・彦根・豊郷・愛知川・八日市・近江八幡・朝日大塚・日野・水口石橋・水口城南・貴生川】

#### 沿線連携イベント

#### 同日開催イベント

【彦根会場】

#### 近江鉄道グループ ありがとうフェスタ



### 《実施概要》

#### 【実施日時】

2022年10月16日（日） 初電～終電

#### 【実施内容】

近江鉄道全線が乗車無料（近畿圏では初の試み）

### 《実施目的》

- 地域鉄道の存続、乗車体験作り
- コロナ禍で疲弊している沿線地域へ誘客し活性化を図る
- 鉄道活用の機運醸成

### 《実施結果》

#### 【利用者数】

約38,000人 ※当初想定利用者数 約10,000人  
(彦根駅 約6,200人、八日市駅 約9,400人、貴生川駅 約3,000人、近江八幡駅 約5,800人)

#### 【臨時電車】

20本運行  
(彦根～八日市12本、八日市～貴生川4本、八日市～近江八幡4本)



### ≪概況≫

- 想定より大きく上回るご利用をいただいた。また、沿線連携イベントへの参加や各駅周辺にある飲食店等の利用が増加し、地域経済への効果が出た。
- 臨時電車を20本運行したものの、各駅で電車に乗り切れない事象が発生したほか、彦根駅や八日市駅で入場制限を行うなど対応に追われ、ご利用のお客さまに大変ご迷惑をお掛けすることとなった。
- 各駅前のロータリーや路上、施設への無断駐車が多数発生した。
- 電車や各駅での事件、事故等の発生は無く、無事に終えることができた。

⇒ 「全線無料デー」をきっかけとして、普段は近江鉄道線を利用されない多くの方が電車に乗車いただき、当初の目的としては達成した。

## ≪全体概況≫

全てのイベントにおいて、予想を上回る来場があり大変喜んでいただけた。来年も開催を願う声を多くいただいた。また、近江鉄道線の存在価値を再認識したという声も多数あった。

	主催団体	開催場所	実施内容	皆さまの感想
米原	びわ湖の素DMO	青岸寺	切り絵障子の展示	通常の土日の約3倍程度のお客さまに来ていただけた。
彦根	彦根を盛り上げ隊	彦根特別ステージ	ステージパフォーマンス	大変多くの人前で発表することが出来て嬉しかった。
	彦根東高校 近江鉄道「彦根駅」PJ	彦根ブース	取り組みポスター展示	生徒たちにとって非常に良い機会となり刺激となった。
	湖東圏域公共交通活性化協議会	彦根ブース	公共交通クイズラリー	多くの方に参加いただき、公共交通に興味を持ってもらえて良かった。
豊郷	豊郷町観光協会	豊郷小学校旧校舎群	豊郷小学校旧校舎群特別見学ツアー	想定していた倍のお客さまにご参加していただけた。
愛知川	愛荘町観光協会	るーぶる愛知川	地酒の試飲 特産物の展示・販売	用意していた地酒もほとんどなくなり大盛況だった。



	主催団体	開催場所	実施内容	皆さまの感想
八日市	八日市まちづくり公社	ほんまち商店街	Yokaichi Market2022	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段のイベントなら午前中で落ち着くのだが、今日はお客さまが途切れなかった。</li> <li>※電車待ちのお客さまにお水をご厚意でお配りいただいた。(約200本)</li> </ul>
	八日市大通り商店街	太子ホール	「聖徳市」食と音楽イベント	実施する時期などの連絡が遅く、準備期間が短かったが、多くの方に来ていただくことができた。
	近江鉄道ED314保存活用PJ	近江酒造	ED314見学&写真撮影、映画ガチャコン上映会、他	駅から離れた会場にも関わらず多くの方に来ていただけた。
	八日市地区まちづくり協議会 まち鉄PJ	八日市駅前	探訪ウォーキング (新八日市～飛行場跡)	定員以上のお客さまにご参加いただけた。八日市駅周辺の人のに驚いた。
近江八幡・彦根	BIWAKOビエンナーレ2022実行委員会	近江八幡・彦根エリア	美術品の展示	普段と違うお客さま層に来場いただけた。
朝日大塚	ガリ版芸術村	ガリ版ホール	フリ鉄(電車に手をふる) 郷土料理販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さまに喜んでもらえるよう一生懸命準備した。</li> <li>・各地の盛り上げたい気持ちをつなげてもらった良い企画だと思う。</li> </ul>

	主催団体	開催場所	実施内容	皆さまの感想
日野	駅舎5周年実行委員会	日野駅	沿線高校の出店展示 飲食・ライブコンサート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道と一緒にやる事、駅そのものを活性化することに意味があると感じた。</li> <li>・イベントは地域が担う方が上手く行くのではと思う。</li> </ul>
水口石橋	みなくち・綾野自治振興会	ひとまち街道交流館	宿場町の紹介 水口噺子の披露	飲食販売に行列ができ非常に賑わった。
水口城南	水口まちづくり社中	水口曳山ひろば	音楽演奏・パレード 屋台	駅前に賑わいが生まれることがとても嬉しい。
貴生川	まごころあふれる花火大会実行委員会	牛飼い田んぼアート横	花火	それぞれの地域をつなげるとても良い企画だと思う。
	貴生川地域自治振興会	牛飼い田んぼアート横	田んぼアート稲刈り体験、うきうきマーケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気も良く大変多くの人に参加いただけた。</li> <li>・貴生川駅前の飲食店で対応しきれず急遽駅前で販売するも即完売となった。</li> </ul>

⇒引き続き地域の皆さまと連携して、まち・駅の賑わいを創出していきたい。



### ＜＜実施概要＞＞

【開催日時】 2022年10月16日（日） 10：00～15：00

【開催場所】 彦根駅東口特設会場 【主 催】 近江鉄道株式会社

【実施内容】 体験コーナー、飲食販売、グッズ販売、ステージ企画

### ＜＜実施目的＞＞

- 近江鉄道グループの地域への感謝の気持ち「ありがとう！」を伝え表す
- 近江鉄道の本業を使っていただき、知っていただき、楽しんでいただく。

### ＜＜実施結果＞＞

【来場者数】 約5,800名 ※当初想定来場者数 約3,000名 県内が約8割

### ＜＜概況＞＞

- 来場者が当初想定より約2倍と大きく上振れし、来場人数の面では成功した。
- 早い段階で飲食物の売り切れが発生してしまったことや、コロナ禍もあり定員制限を行った体験ブースや会場への入場制限などお客さまにご迷惑をお掛けしてしまった。

⇒**地域のみなさまへ「ありがとう！」の感謝を伝えることができ、  
近江鉄道に興味を持っていただく機会となった。**



## 2022年度第1四半期累計決算について

## 1. 決算書について（2022年4月1日～2022年6月30日）

科 目	2022年度実績	2021年度実績	増減	
営業収益	2,066百万円	1,683百万円	+383百万円	+23%
うち鉄道事業	240百万円	224百万円	+16百万円	+7%
営業損益	98百万円	△ 27百万円	+125百万円	-
うち鉄道事業	△ 95百万円	△ 73百万円	△ 22百万円	-
経常損益	135百万円	△ 15百万円	+150百万円	-
税引前当期純損益	132百万円	△ 124百万円	+256百万円	-
当期純損益	93百万円	△ 82百万円	+175百万円	-

百万円未満を四捨五入

※ 本年度（2022年度）の鉄道事業の営業損益は、昨年度に比べ増収したものの主に車両修繕サイクルと燃料高騰による動力費アップもあり前年比より22百万円悪化しました。

※ 2020年度に実施した上下分離への移行合意に伴う鉄道事業資産の減損損失に伴い、それ以降取得した資産についても減損処理（特別損失）を行っており減価償却費は発生しておりません。

## 2. 輸送実績について（2022年4月1日～2022年8月31日）

種 別	2022年度実績	2021年度 増減比	2019年度 増減比
通勤定期	600,905人	△ 1%	△ 4%
通学定期	698,992人	+5%	△ 6%
定期計	1,299,897人	+2%	△ 5%
定期外	524,306人	+17%	△ 25%
合 計	1,824,203人	+6%	△ 12%



### 1 鉄道施設管理団体の概要

		内 容
法人の名称		一般社団法人近江鉄道線管理機構
事務所の場所		彦根市古沢町187番地の2 (近江鉄道株式会社敷地内)
法人の目的		滋賀県東部地域の生活基盤に必要不可欠な地域公共交通である近江鉄道線の安全で安定的な運行体制を再構築し、もって沿線地域の人々の移動の手段を確保するとともに交流を生み出すことで活力に満ちたまちづくりに寄与する。
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道事業法（昭和61法律第92号）に基づく第三種鉄道事業</li> <li>● 第二種鉄道事業者が実施する近江鉄道線の利便性向上及び活性化事業への賛助</li> </ul>
社員（構成団体）		沿線市町および県（計11団体）で構成
役員	理事	（代表理事）東近江市副市長 （理事）東近江市都市整備部長、彦根市都市建設部長 甲賀市建設部長、近江八幡市市民部長 日野町総務政策主監、滋賀県理事（交通政策担当）
	監事	愛荘町監査委員、豊郷町監査委員
事務局体制		事務局長および事務局員 計4名（令和5年度）
安全統括管理者		第二種鉄道事業者の同職の兼任ではなく、独自に選任予定

# 第三種鉄道事業者となる鉄道施設管理団体について

## 2 設立総会の開催概要

	内 容
日 程	令和4年12月27日（火） 11:00～
場 所	東近江市役所
議 事	<ul style="list-style-type: none"><li>● 定款（案）</li><li>● 規則（案）および規程（案）</li><li>● 令和4年度事業計画（案）および予算（案） など</li></ul>
出席者	近江鉄道沿線市町長、滋賀県知事、法人役員（理事・監事） 来賓（近畿運輸局交通政策部長、鉄道部長、近江鉄道（株）社長）

## 3 業務開始までの流れ

令和5年1月下旬	法人登記
令和5年2月～3月	事務所開設準備
令和5年4月～	業務開始



意見交換テーマ：「近江鉄道線の通勤・通学利用を増やすために」

1 意見交換の流れ

【状況説明】 令和4年度 近江鉄道線活性化に向けた取組状況と今後の予定



【取組紹介①】 近江鉄道沿線企業意見交換会（報告者：土井委員）

【取組紹介②】 日野町カーフリーデーの取組（報告者：堀江委員）

【取組紹介③】 通学利用を増やすための取組（報告者：柳瀬オブザーバー、飯田副会長）



意見交換

2 意見交換の論点

以下3点について、順に意見交換を行いますので、ご意見をお願いします。

(1) 取組紹介を踏まえた感想・意見

(2) 学校、事業所（企業）に求めること

(3) 自治体、鉄道事業者に求めること



### 1 実施主体：近江鉄道線活性化分科会 潜在需要を掘り起こし、利用者増を図る取組

項目	内容	実施時期
① 高校選択時期に合わせた、通学における近江鉄道線の利用案内	沿線高校と連携し、学校紹介資料を作成し、沿線市町中学校に配付。 高校体験入学時に近江鉄道線の利用方法等を案内。	7月～10月
② 近江鉄道沿線企業意見交換会	持続可能な企業活動のために、公共交通が果たす役割について近江鉄道沿線企業13社と意見交換。	9月15日
③ 近江鉄道線活性化交流会	近江鉄道線の活性化に取り組む団体の交流会を開催。	11月19日

### 2 実施主体：近江鉄道利用促進担当者会議 観光、自転車のテーマで自治体の施策と連携

項目	内容	実施時期
① 近江鉄道ありがとうフェスタでの連携イベントの実施	近江鉄道ありがとうフェスタにあわせた各地域でのイベント実施、支援。	10月16日
② 映画「線は、僕を描く」コラボ電車の運行・コラボ切符の制作	ロケ地をPRするコラボ電車の運行や映画館の特典付きの切符を製作。	10月8日～12月
③ 駅周辺のレンタサイクルの情報発信。	ビワイチアプリを活用し、駅周辺のレンタサイクルの情報集約、発信。	10月～

# 令和4年度 近江鉄道線活性化に関する取組状況と今後の予定

## 3 実施主体：自治体等

項目	実施主体	実施時期
米原駅連絡通路完成記念イベント「真夏の米原エキ横大冒険」	米原市	8月13日
近江鉄道全線乗車キャンペーン「ワンコインスマイルきっぷ」の販売	東近江市	9月～11月
御城印めぐり「自分で作る御城印 江戸の城郭「彦根城×水口城」	滋賀県	9月～11月
わたむき自動車プロジェクトカーフリーデー(ノーマイカーデー)	日野町	9月22日
「RYDE PASS」を活用したびわこ京阪奈線フリー切符購入促進	びわこ京阪奈線(仮称) 鉄道建設期成同盟会	10月1日～
只見線全国高校生サミットへの参加	日野高等学校	10月22日、23日

## 4 実施主体：近江鉄道(株)

項目	実施時期
近江鉄道みらいファクトリーの展開 (駅清掃活動、ボランティア駅長の就任、パートナーズクラブ第二弾、デニムショップとのコラボ等)	4月～
ガチャコンまつり2022in東近江市	7月
公共交通バル	10月～1月
沿線の歴史・観光名所を巡るデジタルスタンプラリー	10月16日～1月
近江鉄道ありがとうフェスタ 開催	10月16日

※ デジタルコミュニティ通貨「ビワコ」の活用も検討中

## 5 実施主体：各種団体・企業

項目	実施時期
八日市駅「えきなかラジオ局」放送開始	4月～
近江ナゾトキ鉄道(謎解きゲーム)	4月～10月
多賀大社前駅えきなかライブ	6月～10月
映画「ガチャコン！」第二弾制作	7月～
びわこジャズ東近江(ジャズトレイン復活)	9月24日、25日
赤い羽根ガチャコン 運行	10月中
ガチャ・コン音楽祭Vol.2	10月
BIWAKOビエンナーレ	10月～11月

## 近江鉄道沿線 企業意見交換会レポート

従業員よし、企業よし、社会よし  
～これからの通勤のあり方を考える～

9月15日(木)、「近江鉄道沿線企業意見交換会」を初めて開催しました。

今回は、持続可能な企業活動や社会にやさしい「通勤のあり方」について沿線企業13社の皆さんと近江鉄道(株)社員、自治体職員で意見交換を行いました。第1部は近江鉄道線活性化分科会土井座長の講演、第2部は、公共交通での通勤を積極的に取り組む企業の皆さんを交えたパネルディスカッション、第3部は、ワークショップ型で意見交換会を実施しました。

### 第1部 近江鉄道線活性化分科会 土井座長による講演

#### 近江鉄道線の全線存続を決定

近江鉄道線は1889年に開業し、一時は年間1千万人を超える利用者がありましたが、1994年を境に乗車人数は徐々に減少。営業赤字が続き、2019年に県や沿線市町、近江鉄道(株)、有識者などで構成する近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会が設置され、近江鉄道のあり方の検討がスタート。

バスなどの他モードへの転換コストや鉄道の持つ多面的な価値などを調べ、近江鉄道線の全線存続が合意されました。

現在は、近江鉄道線を地域の公共交通としてさらに根付かせようと、利用促進策の検討、実施を行っており、今回の意見交換会もその一環で開催しました。



#### 公共交通には地域にも企業にもメリット

公共交通には多面的な価値や役割があります。通勤や通学、通院などの移動手段だけでなく、交通渋滞の抑制や交通事故被害の減少、地域コミュニティや観光の活性化、二酸化炭素の排出量の抑制など公共交通利用を進めることで様々なメリットがあります。

近江鉄道線は、他の地域鉄道と比較し、通勤利用者が多いことが特徴です。近江鉄道線をうまく企業活動で活用してもらうことにより、従業員の確保や環境への配慮をすすめることができますので、本日はぜひ忌憚ない意見交換をお願いします。

### 第2部 公共交通利用を積極的に 進める4社からの話題提供・ パネルディスカッション

フジテック株式会社、株式会社 SCREEN ビジネスエキスパート、株式会社村田製作所 八日市事業所、三菱ロジスネクスト株式会社の4社から話題提供をいただきました。



#### フジテック株式会社

近江鉄道線を利用するようになったきっかけは、大阪府から滋賀県へ本社移転が決まったことでした。滋賀県に集約することにより当時の総従業員は950名ほどになり、そのうちJR線を利用して大阪府などからの長距離通勤を行う者が約400名いました。JRの駅から本社までどう通勤させるかと考えたとき、縁あって近江鉄道(株)に相談させていただきました。結果、快く私どもの事業所の近くに駅を作っていただけることになり、京セラさんに続いて2番目となる企業の名前が着いた駅「フジテック前」を2006年の3月に開設していただきました。

駅の開設以降は、近江鉄道線を利用する従業員に利用区間調査を行い、企業で定期を一括購入したり、単身赴任の従業員用に沿線に社宅を設けたり、ダイヤに合わせた就業時間に変更する(全国でここだけ)など工夫を施したりと、できるだけ公共交通を利用しやすいように配慮しています。しかし、年月が経つにつれて県外から通っていた従業員の滋賀への転居が進み、気が付けばマイカー通勤者が増えてしまいました。現在、近江鉄道線を利用しているのは200名ほどです。SDGsの観点からも、マイカー通勤者をどのように公共交通へと切り替えていくかが私共の中で課題となっています。

#### 株式会社 SCREEN ビジネスエキスパート

SCREENの事業所の1つが彦根にあり、かつては近江鉄道高宮駅から10分ほど歩いて通勤していました。しかし、夏場の炎天下、台風シーズンの雨風、冬場の雪など徒歩での通勤環境や従業員の通勤手段の利便性向上に課題意識を持っており、近江鉄道(株)に相談させていただいたところ、会社のすぐ横に「スクリーン駅」を作ることになりました。ちょうど近江鉄道(株)も高宮駅から多賀大社前駅までの多賀線に新駅設置を検討されていたようで、お互いの利害関係が一致いたしました。本格的に弊社で検討を始めたのは2007年、駅舎は2008年3月開設しました。

開設した当時は500名ほどの通勤者を想定していましたが、現在は従業員の増加もあり、約800名が近江鉄道線を通勤手段として利用。多く駐車場を増やす必要がないうえに近隣の交通渋滞の緩和、CO2排出量の抑制にも効果が出ているのではないかなと思っています。また、社内への入構教育でも「できるだけ公共交通を利用するように」と促進しています。従業員が気持ちよく通勤できるように、また現在駅から事業所まで雨に濡れずに直結できるよう環境整備する予定です。

#### 三菱ロジスネクスト株式会社

弊社は近江鉄道武佐駅が最寄り、現在180名近くの従業員が利用しています。しかし、2019年ごろは始業時間に間に合う電車が7時台の1本しかなく、8時台の電車は0本。特定の電車に多くの従業員が乗車してしまうと他の利用者の方々にご迷惑がかかることが予想されました。そこで近江鉄道(株)に相談させていただいたところ、ダイヤを調整してもらえ8時台の快速電車を武佐駅に停めていただけるようになりました。快諾と言ってもいいほど、柔軟に対応していただきました。

さらに、弊社でも始業時間を遅らせるようにして、7時台と8時台併せて合計3本の電車を利用できるようになりました。同時に通勤経路の見直しもを行い、今までは真っ暗で危険だった道に防犯灯を設け、川沿いの道には橋を架けて、横断歩道を渡れば工場内に入れるように工夫も行いました。おかげで電車通勤の従業員からは喜びの声が挙がっています。

### 第3部 職種や立場関係なく行われたワークショップ型意見交換会



滋賀は工場がたくさんある場所なので、今後はやはり車の渋滞緩和やCO2の削減を考えると近江鉄道線を利用するのはとても有効だと思います。必要であれば駅を作るとか最寄りの駅からバス等の二次交通を利用するといった方法はいくつもありますので、企業ごとの規模や事情に応じて関係者が連携して検討できればと思います。



交通手段は種類が多いほど移動の選択肢が増え、人々の生活を豊かにすると考えています。近江鉄道線に限らず、車やJR、バスやタクシーがあってこそ社会のバランスが上手く取れるようになるのではないのでしょうか。近江鉄道線はとても重要な立ち位置にあるので、ぜひ選択肢の1つとして前向きに利用してほしいです。



今回の交流会で皆さまと繋がりを持たせたことを大事にしていきたいです。また、近江鉄道線は「人と人を繋ぐ」という役割を担っていると思いますので、今後さらに企業の皆さんと繋がり、取り組んでいけることを楽しみにしています。

# 資料編

## 近江鉄道沿線 企業意見交換会レポート



こちらでは、第3部のワークショップで出た意見や終了後アンケートに記載いただいた感想の一部を紹介します。

## その他 アンケート感想

抜粋

### A グループ



#### 1. 話題提供の感想

- 無理かも…と思わずにまずは提案することが重要
- 定期的な会社支給は珍しい
- 会社側からマイカー通勤を抑制することが大切
- すでに取り組みをされている会社でも更なる課題があることに驚いた
- 企業のルール作りも重要だと感じた

#### 2. 公共交通利用の可能性

- 利便性の向上がポイント
- 便利で楽しく乗り継ぎができるよう改善できれば…
- 会社からの手当があれば
- 渋滞の解消や従業員用駐車場の拡張抑制に繋がる
- 派遣会社への呼びかけ

#### 3. 企業としてできること、近江鉄道(公共交通)に期待すること

- ノーマイカーデーの啓発
- 庁内で公共交通の重要性を共有する
- 近江鉄道を利用して通勤している人に補助金を出す
- 出張回数券利用の呼びかけをする

### B グループ



#### 1. 話題提供の感想

- 企業で働く従業員の子ども、学生の利用もあると知った
- 近江鉄道沿線への工場設置
- 沿線から距離のある村田製作所さんでも50名の利用者がいることに驚いた
- 社員が利用しやすい環境づくりに取り組んでおられることを知った

#### 2. 公共交通利用の可能性

- 近江鉄道とバス、自転車とのネットワークが充実すれば…
- 非正規雇用者の通勤手段として
- お試し期間などできっかけづくりを行えば…
- 求人活動に繋がる
- 徒歩を取り入れて健康志向に

#### 3. 企業としてできること、近江鉄道(公共交通)に期待すること

- 花見などの社内イベントや休日にも利用したい
- 駅周辺の整備
- 従業員の通勤事情の把握
- 「ガチャコン」と呼ばない

### C グループ



#### 1. 話題提供の感想

- 近江鉄道と企業が協力し公共交通へ誘導していくことの素晴らしさを知った
- 会社としての方向性がブレていないとすごい
- 上手に社員のイメージアップに繋がっている
- マイカー通勤との共存が大切

#### 2. 公共交通利用の可能性

- 健康増進と環境配慮からのアプローチを行えば…
- 他の公共交通機関との連携(ICカードなど)
- 町内循環バスを運用できれば可能性の幅が広がりそう
- 週1回、月1回でもいいから電車デーを作る

#### 3. 企業としてできること、近江鉄道(公共交通)に期待すること

- 町内の企業でさらに意見交換を行う
- 公共交通への切り替えの呼びかけ
- まずは職員に公共交通を乗らせます!
- 公共交通機関利用のお試し日を設ける

### D グループ



#### 1. 話題提供の感想

- 近江鉄道の柔軟性を感じた
- 地域に寄り添う距離感がいい
- 会社や近江鉄道などの公共交通が従業員に寄せていくことが大切

#### 2. 公共交通利用の可能性

- ダラダラ残業の削減
- 通勤してもらえるように条件を設ける
- 安心安全
- 二次交通(バス)が発展すれば…

#### 3. 企業としてできること、近江鉄道(公共交通)に期待すること

- 公共交通の利用を社内アナウンスする
- 交流の場を作る
- 近江鉄道のPR(生活や観光面)行う
- 求人広告への協賛協力

### E グループ



#### 1. 話題提供の感想

- 近江鉄道側も企業側もとても柔軟に対応していて驚いた
- 企業の名前が付いた駅ができるのはすごい
- 公共交通に合わせた働き方ができると知った
- 自宅から駅、駅から職場への両方のアクセスが大切だと思った

#### 2. 公共交通利用の可能性

- 細かいところまで手が届けば…
- 駅に駐車場が充実すれば可能性はアップするかも
- 運賃が高いイメージがあるので割引などがあれば嬉しい
- 働き手の可能性が広がる
- 音や鉄道の雰囲気、景観のよさを拡散

#### 3. 企業としてできること、近江鉄道(公共交通)に期待すること

- 駅に近い場所での会議を開催する
- 休日に近江鉄道を利用して遊びに行ってみる
- 一度公共交通を使って通勤してみる
- 出張時は近江鉄道を利用する

- 沿線企業と同じ問題を通して情報共有ができた。
- 自治体も含めて幅広い話を聞くことができた。
- 企業、行政と一緒に話す機会ができ、取組が進めやすくなった。
- 各社が社員のことをよく考え、環境整備されていることが印象的。
- フジテックやスクリーンの従業員の負担軽減の考えや近江鉄道の協力的な姿勢に感銘。
- 近江鉄道の柔軟性に触れることができた。
- 大変良い企画運営でした。



- 社員の最寄り駅へのアクセスの充実が課題。
- マイカーそのものが壁。リスク管理の観点から取組ができれば。
- リースバスの使い方やバス通勤の方法の見直しがあれば。
- 最寄り駅から工業団地へバスを出すことができないか。
- 鉄道とバスがダイヤや運賃の面で連携できるともっと使いやすくなる。



- 各社様々な工夫していることを知り、弊社も考えられればできることがあるのでは。
- 今後も情報共有の場を多く持っていければ。
- 当社ももう少し近江鉄道と交流したい。
- 近江鉄道線は残すべきと改めて感じた。
- ノーマイカーデーによる近江鉄道の利用の呼びかけを行いたい。
- 社内での会議テーマとしてディスカッションができれば。
- 駅名ネーミングライツを検討したい。
- 近江鉄道を中心に公共交通による通勤者を増やす取組を健康増進や環境配慮の観点から検討したい。

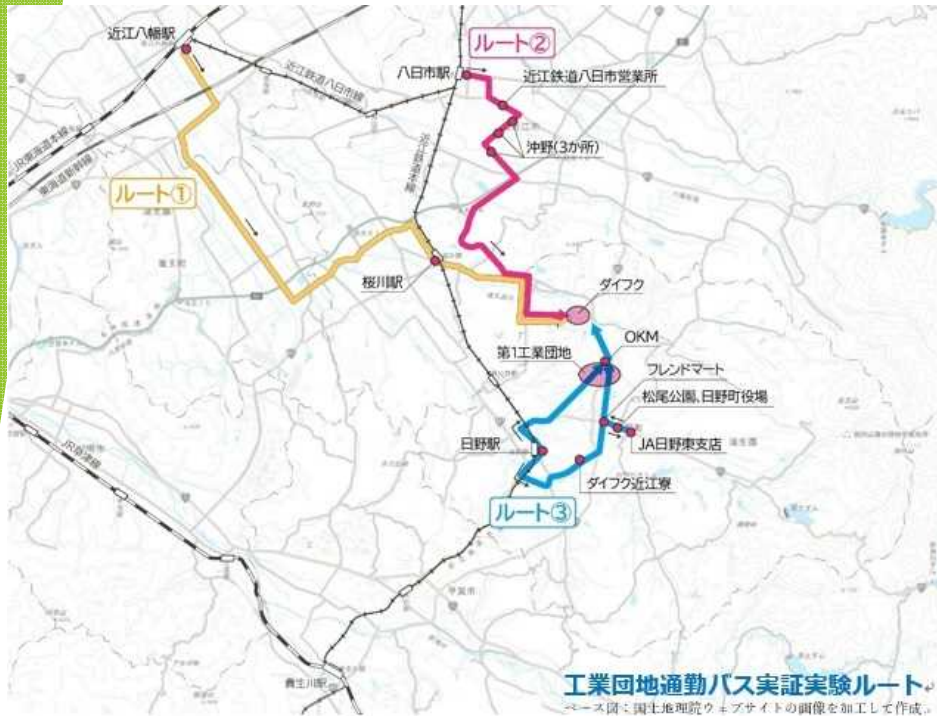


# 日野町「わたむき自動車PJ」 実証実験結果

## 【通勤バス実証実験】

### ○運行日

- ・ 9月1日～30日（20日間）



### ○運行本数・利用者数

#### ・近江八幡駅ルート

朝3便、夕7便、利用回数 710回

#### ・八日市駅ルート

朝3便、夕5便、利用回数 348回

#### ・日野駅ルート

朝4便、夕5便、利用回数 298回

・利用回数合計 1,356回

(R3年度比1.8倍)

### ○接続のための既存路線

バス利用 248回

(R3年度 209回)

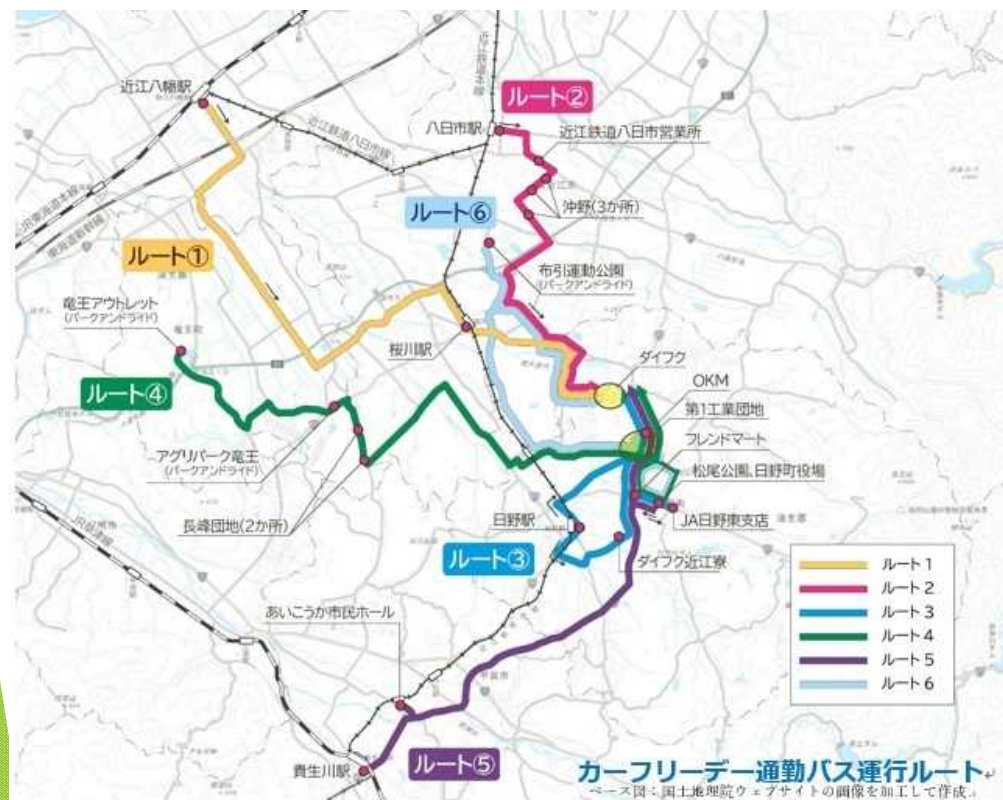
※近江鉄道利用者数は、  
現在、集計中



# 【日野町カーフリーデー（9月22日）】

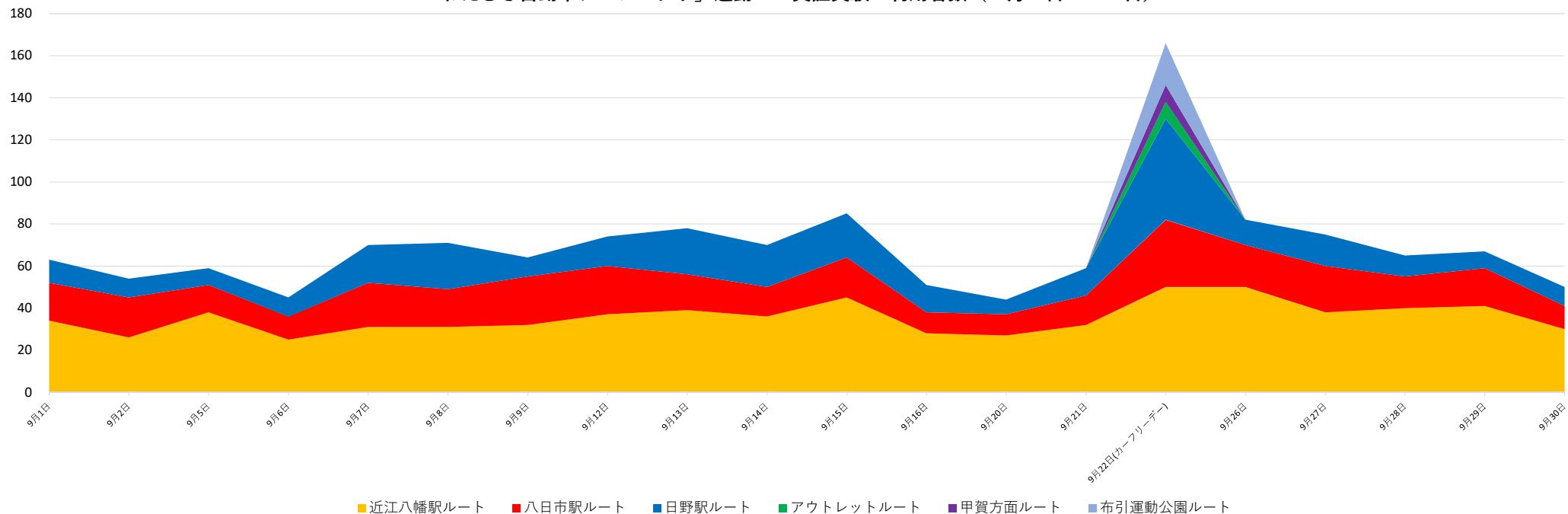
## ○事業の内容

- ・ 6路線による仮想路線バスを運行  
当日のバス利用回数は、166回
- ・ まちなかでの“にぎわいづくり”として、  
松尾公園「カーフリーフェスタ」と  
日野駅「ライトアップコンサート」を同時開催  
(両会場を結ぶシャトルバスの利用は、271回)
- ・ 日野町役場北側駐車場では、滋賀自販連の協力のもと、最新のエコモビリティの展示会を開催
- ・ 当日は、滋賀県知事、陸運局、環境省、協力事業所等による視察・意見交換会を開催





「わたむき自動車プロジェクト」通勤バス実証実験 利用者数（9月1日～30日）



(人)

	9月1日	9月2日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	9月20日	9月21日	9月22日 (カーフリーデー)	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日	9月30日	合計
近江八幡駅ルート	34	26	38	25	31	31	32	37	39	36	45	28	27	32	50	50	38	40	41	30	710
八日市駅ルート	18	19	13	11	21	18	23	23	17	14	19	10	10	14	32	20	22	15	18	11	348
日野駅ルート	11	9	8	9	18	22	9	14	22	20	21	13	7	13	48	12	15	10	8	9	298
アウトレットルート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	8
甲賀方面ルート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	8
布引運動公園ルート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	—	—	—	—	20
合計	63	54	59	45	70	71	64	74	78	70	85	51	44	59	166	82	75	65	67	50	1392

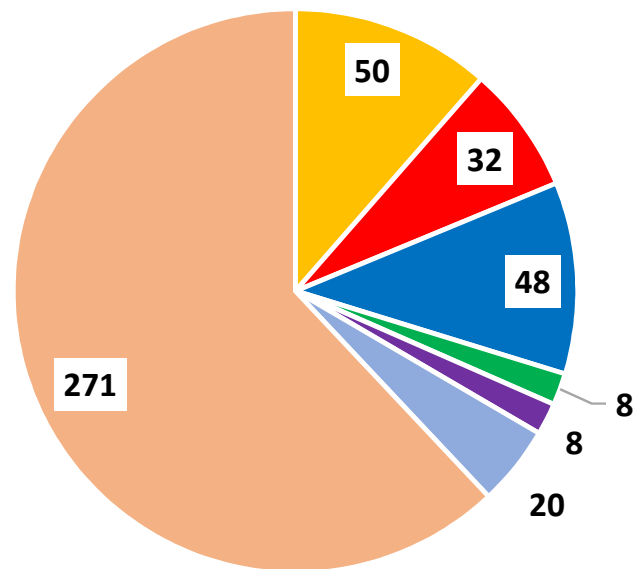
※行きと帰りで、利用者数が異なるため、片道を1人としてカウント

※9月22日のイベントシャトルバスの利用者は、271人

「カーフリーデー」通勤バス・イベントシャトルバス利用者数（1回乗車（片道）を1人でカウント

	9月22日 (カーフリーデー)
近江八幡駅ルート	50
八日市駅ルート	32
日野駅ルート	48
アウトレットルート	8
甲賀方面ルート	8
布引運動公園ルート	20
イベントシャトルバス	271
合計	437

9月22日(カーフリーデー)バス利用者数(437人)



- 近江八幡駅ルート
- 八日市駅ルート
- 日野駅ルート
- アウトレットルート
- 甲賀方面ルート
- 布引運動公園ルート
- イベントシャトルバス

## ★取り組みのポイント

動機づけ資料(MM資料)に必要な観点の整理  
高校生がMM資料の改善点について議論  
地域主導によるMM資料の改善、配布

- A.沿線高校生及び保護者へのアンケート調査
- B.中学生向け学校説明会での資料配布
- C.沿線高校生を対象としたワークショップ
- D.近江鉄道によるMM資料の改善&沿線高校生に配布

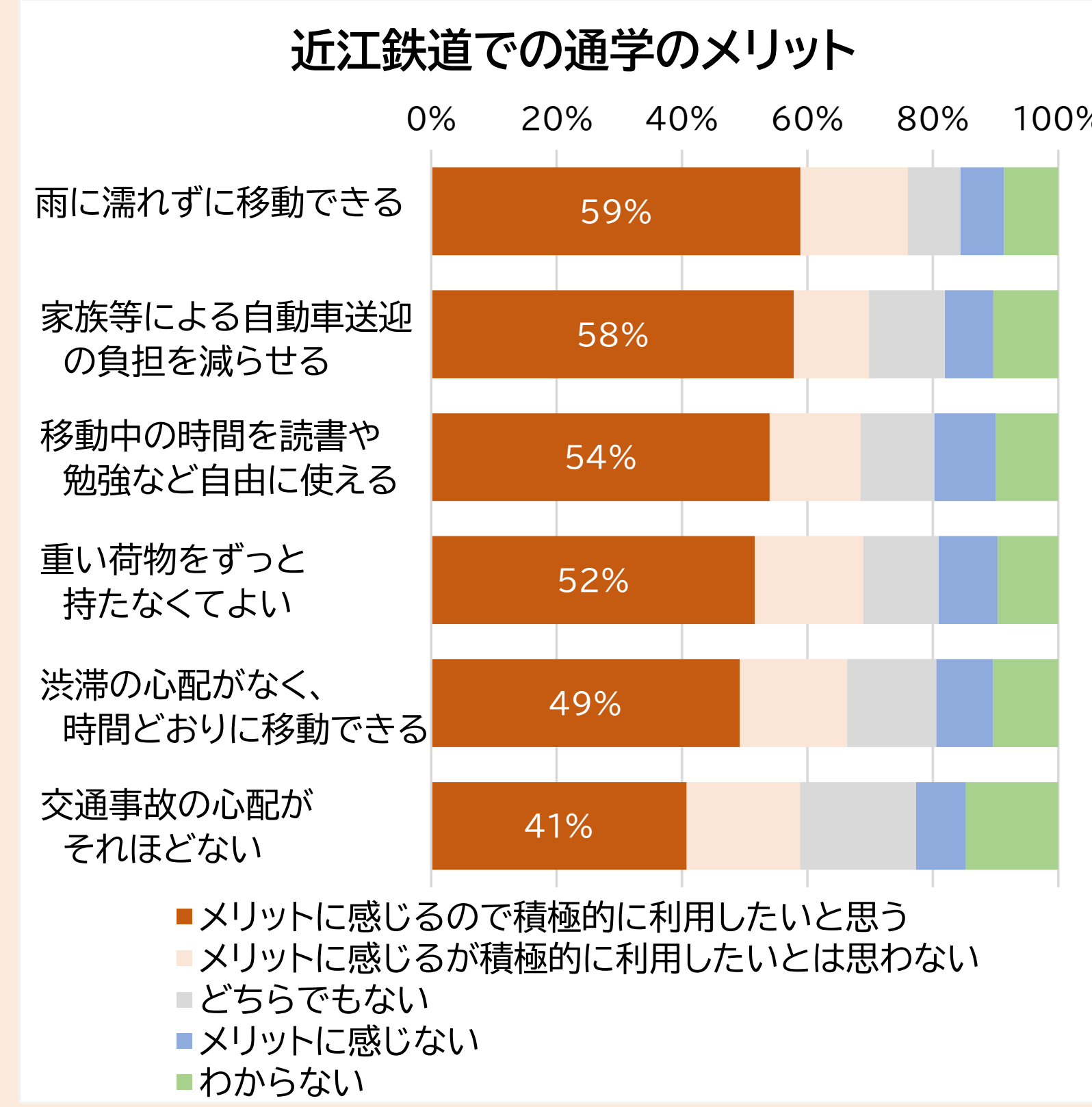
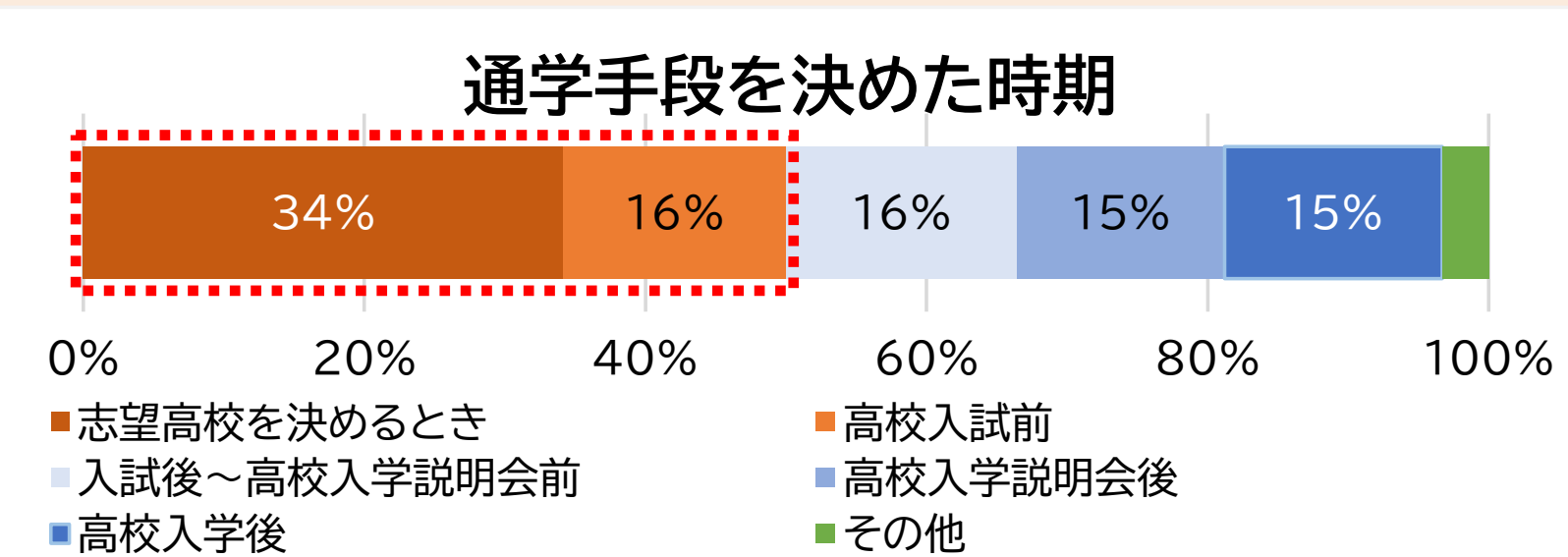
## 背景と目的

近江鉄道は滋賀県東部地域5市5町を結ぶ私鉄であり、地域の幹線交通であるが20年以上経営赤字が続いている。2019年11月に近江鉄道、滋賀県、沿線5市5町、学識者、利用者代表などにより法定協議会が発足し、上下分離方式に取り組むことを決定し、そのあり方の検討が進められてきた。近江鉄道の利用者は約7割が定期券利用者であり、半数が通学定期券の利用者である。こうした現状を踏まえて、利用促進に取り組むためには高校生の通学利用を拡大することが必要となる。そこで**通学利用の高校生を対象とした利用促進策を検討した。**

## 取り組みの実施と効果

### A.沿線高校生及び保護者アンケート調査

半数が**入学説明会の前には通学手段を決定**  
高校生が感じる**通学のメリットの確認**  
通学方法の決定に**保護者の意向も影響**



方法:アンケート調査の実施  
期間:令和4年2月11日(金)～28日(土)  
対象:近江鉄道の利用が想定される21校の高校1年生及びその保護者  
回収:生徒3,947票、家族2,759票

### B.中学生向け学校説明会で資料配布

動機づけ資料を作成し、**資料を配布**

中学生向け学校説明会で配布したMM資料

近江鉄道でみんなと楽しく通学しよう

近江鉄道の通学定期券を買う！

高校への進学は不安がいっぱい？

近江鉄道で通学すると不安も解決！

方法:近江鉄道沿線の中学生向け学校説明会で動機づけ資料配布  
場所:八日市高等学校、彦根翔西館高等学校  
期間:令和3年11月6日(土)  
対象:学校説明会に参加した中学生

### C.沿線高校生を対象としたワークショップ

高校生の**自らの体験や意見を後輩に伝えられ**、資料の改善を通じて**利用促進にも活用**  
地域の公共交通や将来の地域の姿について**考えるきっかけ**になった  
ワークショップでの**高校生の意見(一例)**

- “よかったところ・勉強になったところ”
  - ・定期券を持っていたら土休日には+100円で全線に乗ることができることを初めて知った
  - ・車の問題点がわかりやすい
  - ・オープンキャンパスで配布したことが良かった
- “わかりやすかったところ・改善が必要などころ”
  - ・文字が小さい・多い
  - ・感染症対策として何をやっているのかがわかりにくい
  - ・近江鉄道の情報が入ってこない
- “資料の改善案・方向性”
  - ・土休日+100円をもっと大きく
  - ・近江鉄道のキャラクター(駅長がちゃこん)の有効活用
  - ・感染症対策の状況を明確に
  - ・駅間の所要時間を書く

方法:中学生向け学校説明会で配布した情報提供資料について、掲載すべき情報やPRすべきポイント、資料の体裁・提示方法等についてGWを通じて議論、改善  
場所:八日市高校  
期間:令和3年12月19日(日)  
対象:近江鉄道沿線の7校の高校生1年生25名

配布した資料について高校生が改善点を議論

### D.近江鉄道によるMM資料の改善&沿線の中学生に配布

近江鉄道でみんなと楽しく通学しよう

近江鉄道と主な学校

高校への進学は不安がいっぱい？

それなら近江鉄道で楽しくエコな通学♪

こんなにお得！近江鉄道の通学定期券

指定期間・区間が**毎日乗り放題**

通学定期券のお買い求めは、近江鉄道 八日市駅・近江八幡駅・彦根駅など職員がいる駅で

近江鉄道が高校生の意見を踏まえてを改善

## 結論

- ・高校生の公共交通の利用促進を図るには「**通学先の検討段階に**」、「**中学生や保護者に対して**」、「**公共交通での通学のメリット**」に関する情報提供が重要であることを確認できた。
- ・公共交通の通学利用の促進を図るための**高校生の生の意見が反映されたMM資料**が作成できた。
- ・ワークショップの開催を通じて、**生徒自らが地域の公共交通を取り巻く課題を知り、考え、後輩に伝えていくきっかけ**を作ることができた。
- ・**地域の公共交通の継続的な利用促進を図るためには、先輩から後輩に引き継いでいくこと、それを地域主体で続けていくことが重要と考える。**

今年度の状況:沿線高校の中学生向け学校説明会において、改善したMM資料を近江鉄道が配布

## 新入生の通学手段に 近江鉄道線利用選択の メリット認識



2022年3月

沿線高校の入学説明会で  
新入学生にパンフレット  
を配付(13,000枚)

## 沿線高校在校生による中3生への魅力の発信 近江鉄道線利用のメリット発信 沿線高校受験意識の啓発



2022年7月

沿線の高校生が後輩に向けて  
学校をPR。  
沿線中学校で掲示



2022年8月

沿線高校の夏休み体験  
入学に来場した中学3  
年生に説明  
(3校で4回)